

『春雷とノイズ』の最終回結末に関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『春雷とノイズ』の最終回結末に関するアンケート調査
調査対象	『春雷とノイズ』を読んだことのある20代～50代の男女4名
調査期間	2026年7月18日～2026年7月19日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/syunnaitonoizu/

■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えてください。

Q2:『春雷とノイズ』の最終回の結末を予想してください。

Q1:年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	1人
30代女性	0人
40代男性	0人
40代女性	1人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2:『春雷とノイズ』の最終回の結末を予想してください。

秦と鈴がくっつくことは、ほぼ確定でしょう。気になるのは、そこへどのようにして至るかといったところ。恐らく琴子は鈴の親友ポジションについてくれると思うのですが、この琴子がキーになるのではないのでしょうか。琴子は明け透けなく話すというか、思ったことをズバズバ言ってしまう性格をしています。その忤度しない言葉が鈴に変化を与え、鈴の持っていたわだかまりも消えていく。そして秦の好意を素直に受け入れるようになって

て、二人は恋人へという結末を迎えるのではないかと予想します。

今のところ悲劇を予感させるような要素は見られず、ヤキモキとしながらも鈴と秦の関係にドキドキする展開。最終回までこの雰囲気を受け継いでいくとするならば、鈴と秦が結ばれるのは鉄板と言って良いのではないのでしょうか。そして2人の距離感と同時進行で、鈴が抱え続けている兄へのコンプレックスにも解決が見られるはず。ただ秦が鈴を受け入れるというだけでなく、鈴自身も、自分を愛せる鈴になって、みんな幸せな終わり方をして欲しいですね。

兄のせいで面倒事に巻き込まれたり、比べられたりしてきたけど、兄が周りにそういうことはもうやめるようにと伝えてくれて、これから鈴は平穏な毎日が送れると思います。鈴と秦は、なんだかぎこちなかったけれど、段々と鈴が秦に心を開いていき、今後両思いになると思います。

兄と比較するのが嫌で人と関わることから逃げていた鈴ですが、秦はすばるの妹かどうかなんて関係なく鈴本人にこそ興味を持ってくれている。そしてもし鈴が危険な目に合っていた時には自分があどうなってもいいから鈴を助けたいと思ってくれている。さまざまな経験から実感を持って理解することができるのではないのでしょうか。鈴の世界はどんどんと広がっていき、でもいつも鈴の隣には秦がいて見守ってくれ続けるのではないのでしょうか。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス